

薄型DLPマルチ用システムソリューション

田中 敦*

System Solutions for Ultra-Thin DLP Multi-Projector

Atsushi Tanaka

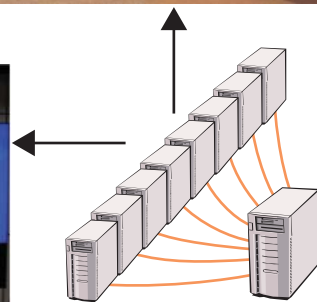
要 旨

近年、家庭用テレビジョン、ビルや店舗内ディスプレイ、業務用監視システム、ビル壁面やスタジアム向け大型スクリーンなど、あらゆる分野のディスプレイの高解像度化・大画面化が進展している。特に、第3の大型TVと言われるリアプロジェクタは最近家庭用で注目を浴びているが、既に業務用途では、これらを縦横アレー状に並べるマルチ大画面構成とすることにより大きさや解像度を飛躍的に高めることで大量の情報を提示可能となるため、主に大規模監視システムなどに利用されてきた。一方、薄型DLP^(注1)リアプロジェクタは、奥行き26cmという薄さとフロントメンテナンスの特長により設置制約が大幅に減り、駅、空港、ビルのロビーなどオープンスペースへの設置が可能に

なった。情報表示板用マルチ大画面システムでは、複数人への膨大な情報量提示機能のほか、屋外ディスプレイと館内の複数ディスプレイ表示の連携や、宣伝広告表示で必要となる臨場感と表現力の高さを売りにした注目度の高い演出表示機能など、より複雑かつ高品質なコンテンツ表示能力が求められる。

今回、三菱電機では、単画面からマルチ大画面に対応可能で解像度フリーなスケーラブル高品質コンテンツ表示システムを開発した。本稿では、その概要と今後の形態について述べる。

(注1) DLP(Digital Light Processing)は米国Texas Instruments社の登録商標である。



パソコンクラスタ型スケーラブル
高品位コンテンツプレーヤー

表示例

上の写真は当社情報技術総合研究所内に設置した大型映像音響実験スペースである。DLP12面マルチ大画面(正面)、LED(Light Emitting Diode)型オーロラビジョン(床面)、LCD(Liquid Crystal Display)6面マルチ(左壁面)、薄型DLP4面マルチ(右壁面)をスケーラブル高品位コンテンツプレーヤーで表示した例である。正面のDLP12面マルチは、ハイビジョンの約4.5倍の解像度の映像を表示している。下の写真は薄型DLP6面マルチでの表示例である。